

8月に予定していた夏祭りが中止になり、子どもたちから残念がる声や家で夏祭りごっこをして「楽しかった」と話す子の姿が見られました。はと組でも夏祭り気分を味わうことが出来ないか、みんなで楽しい事が出来ないかと子ども達に投げかけお祭りについて話し合いをすると、沢山の楽しいアイデアが出てきました。

子どもたちから出た意見は

かき氷屋さん スーパーボールすくい くじ引き ガチャガチャ 綿あめ屋さん
フランクフルト屋さん たこ焼き屋さん アイスクリーム屋さん 花火



夏祭りごっこの品物を作るためには何が必要か子どもたちと考え、保育教諭と一緒に身近な素材を活用して制作開始！今回は、準備の様子を紹介していきたいと思います。

打ち上げ花火



折り紙をシャバラ折りにしたものをくっつけて打ち上げ花火を作りました。シャバラ折りは簡単なようで中々難しい子どもたち。交互に折っていたはずなのに、気が付けばいつの間にかクルクルと丸まってしまう海苔巻き状態に…。「あれ？開かない」と困っていると、そんな時は「こうやってするんだよ」と優しく手伝ってくれる子もいて、子ども同士で協力しながら作り上げていました。

かき氷



カップに綿を詰め、上にペーパーを細かく裂いて乗せました。シロップをかけるとペーパーがクシュクシュと縮む様子が面白くて、本物そっくりなかき氷の出来上がり。

たこ焼き



次々に品物が出来上がってくると「次はたこ焼き作ろう」と子どもたちの意欲が止まりません。すぐにたこ焼きに使いそうな素材を準備してクルクル握ってたこ焼き作り。「たこ焼きにはタコも入っとるよ」とストローで小さなタコも入れました。中身は見えなくても、子どもたちのこだわりでしっかりとタコ入りです。ソースとマヨネーズ、青のりと紅生姜もかかっていますよ。



8月初旬から始まった夏祭りごっこの準備。友だちとどんな品物にしたらいいか話し合ったり、材料がなくなった時はどうしたらいいのか考えたりしながら毎日楽しく準備をしてきました。友だちと協力することやみんなに喜んでもらいたいという子どもたちなりの目的を持ちながら取り組む姿が見られます。いつもの夏祭りではありませんが、夏祭りごっこが成功する経験を通して喜びや達成感を友だちと一緒に共有していけたらと思います。